

『東部ユーラシアのソグド人』正誤表 (2024年4月)

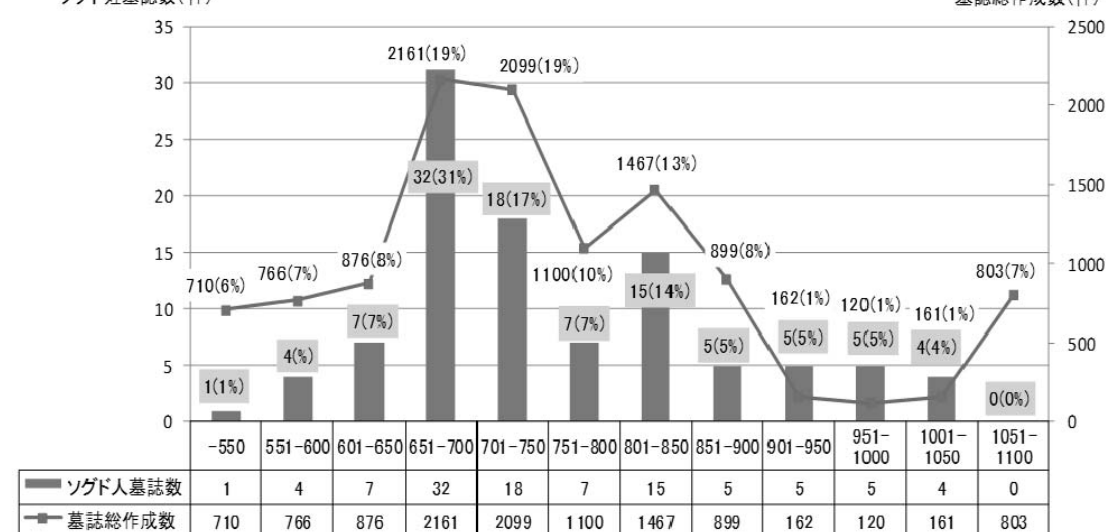
本書に誤りがありましたので、以下の通り訂正し、お詫び申し上げます。(本表には、出版時の明らかな事実誤認の訂正を含みます。)

頁	行(注・図表)	誤	正
4	3	八世紀中ごろに	八世紀中ごろ以降
4	12	荒川 [一九九七・一〇一〇]	荒川 [一九九七・二〇一〇]
7	9	男性九六名	男性一〇三名
11	8	代わられるまでの約七五〇年間、交易の…	代わられる一〇世紀後半まで、交易の…
15	【図表2】	〔北朝 002：王源妻曹氏墓磚：葬年〕 437	473
15	【図表2】	〔北朝 023〕康虜奴及妻堡氏墓誌	康虜奴及妻竺氏墓誌
34	8-9	安祿山はその姓から安国出身のソグド人の子孫であるとされるが、	安祿山の名である
35	9	特に五胡期に	特に五代期に
36	【図表7】	〔注記に入れる〕	埋葬年が不明で、没年が判明している場合は、没年を用いた。なお、年代が確定していない B-001 はより可能性の高い -550 年に含め、T-289~294 は算入していない。
43	7	全四〇件で、……③二七件	全四一件で、……③二八件
44	16	全六五件で、……③四二件	全六九件で、……③四六件
47	2	全部で六七件であり、	全部で六九件であり、
48	5	祖令思、……奏并部曲八百人、	祖令思、……并部曲八百人、
48	10	魏・相。貝三州に…	魏・相・貝三州に…
50	8	墓誌全七五件中でも、	墓誌全七九件中でも、
53	8	全部で二四件と…	全部で二五件と…
54	2	翟氏全二四件中四件は、	翟氏全二五件中四件は、
58	注8	ソグド人が名乗っていた姓は上記の八姓以外にも、支・畢・羅などがあるとされることから、ソグド人の婚姻関係を判断する際にはこの四姓を含めた。桑原 [一九六八：三五〇~三五二頁] 参照。	収集したソグド姓墓誌中でソグド姓の者との婚姻関係が複数みられる羅姓は、ソグディアナに隣接するトハリスタン出身者の姓とされ、ソグド人との関係の深さが指摘されている [池田一九六五]。そこで、羅姓をソグド姓同士の婚姻とみなして判定した。
59	注13	桑原 [一九六三：三一九頁]	桑原 [一九二六：三一九頁]
65	4	全三八八件、……合計五〇七人分の…	全三九九件、……合計五二五人分の…
76	【図表3】	〔ソグド人墓誌数の一部に誤り〕	〔本紙右下「76頁【図表3】】〕
77	5	七〇一~七五〇年に一六%、七五一~八〇〇年に八%である	七〇一~七五〇年に一七%、七五一~八〇〇年に七%である
91	11-12	「唐故陸(六)胡州大安君墓誌」	「唐故陸(六)胡州大首領安君墓誌」
141	18	太宗	高宗
155	8	周範馳などと…	周範などと…
167	【図表2】	〔618年史多の年齢〕 0	1
182	3	貧汗山の北に…	貪汗山の北に…
220	4	三六五件の墓誌、四七七名分の記載を…	三九九件の墓誌、五二五名分の記載を…
220	7	一六四名であった。	一六六名であった。
235	8	していた。そこで、華北統一を果たした北周武帝が、洛陽に往時の…	していた。華北統一を果たした北周武帝の死後、あとを継いだ宣帝は、洛陽に往時の…
244	7	遂立勅勳、為王治国以来、已經二世。	遂立勅勳為王。治国以来、已經二世。
244	10	勅勳を立て、王、国を治めて以来、已に経ること二世と為る。	勅勳を立て王と為る。国を治めて以来、已に二世を経る。
265	4	『西域図志』	『西域図記』
288	4	【図表4】〔図表ぬけ〕	【図表1】〔本紙右下「288頁【図表1】】〕
298	注24	「修善里」で死亡した花献妻安氏以外の……「修善里」の私第で死去し、	「修善坊(里)」で死亡した花献妻安氏以外の……「修善之里第」で死去し、
322	3	(全三六五件、合葬を含むと四七七名分の情報)	(全三九九件、合葬を含むと五二五名分の情報)
322	6	①と②に該当した一五七人を	①と②に該当した一六六名を

322	7-8	「翟育墓誌」(北周武定元年(五四四):判定①)で、遅いものは、「史氏墓誌」(北宋元符三年(一一〇〇):判定②)	「安威墓誌」(B-008 東魏五三八年:判定①)で、遅いものは、「史氏墓誌」(So-046 北宋一一〇〇年:判定②)
322	16	ソグド人一五七人と、	ソグド人一六六名と、
322	17	安・康・米姓の者一九名を②→③として合算した一七六名のうち、	安・康・米姓の者二二名を③→②として合算した一八八名のうち、
323	1	男性の九六名に……この九六人を…	男性の一〇三名に……この一〇三名を…
343	8	『史学雑誌』一八八	『史学雑誌』一一八
351	11	吉田豊 [一九八八]「ソグド語雑録(II)」『オリエント』三一・二、一九八九、一六五~一七六頁	吉田豊 [一九八九]「ソグド語雑録(II)」『オリエント』三一・二、一六五~一七六頁
351	12	一一 [一九八九]「ソグド語の人名を…	一一 [一九九〇]「ソグド語の人名を…
357	18	西安地図出版社:西安	西安地図出版社:西安
359	11	Chavannes, Ed.	Chavannes, Éd.
359	16	Scuola di Studi sull'Asia Orientale,	Scuola di Studi sull'Asia Orientale,
360	21	en Extrême-Orient.	en Extrême-Orient.
361	3	de la región	de la région
362	2-4	Yoshida Yutaka [1994]…… <i>Iranicaum</i> …… <i>Centar</i> / …… <i>Smis-Williams.</i> in <i>Bulletin of the Bulletin of the School of Oriental and African studies,</i>	Yoshida Yutaka [1994]…… <i>Iranicarum</i> …… <i>Central</i> / …… <i>Sims-Williams.</i> <i>Bulletin of the School of Oriental and African studies,</i>
索引		中田裕子 103, 188, 218	中田裕子 103, 189, 219

誤	正	頁(行・注)
吉田一九八八	吉田一九八九	4 (16), 28 (3), 87 (9), 108 (11), 150 (11), 248 (17)
吉田一九八九	吉田一九九〇	34 (10), 35 (3), 53 (16), 82 (15), 17)
桑原一九六八	桑原一九二六	57 (12), 59 (注11, 注15), 304 (7)

76頁【図表3】「ソグド人墓誌数」と「墓誌総作成数」の埋葬年による変化



288頁【図表1】「洛陽景教鐘樓」出土地